

平成30年度施設経営に係る基本的な考え方（年度計画）

1 ビジョン

当法人は、地域の人々のニーズに応じてサービスを提供するにあたって、人間の尊厳と自己実現を理念として、年齢、性別、障害の有無に関係なく、誰もが、暮らしやすく、住みよい地域社会において、継続して通常の生活が自立できるよう支援するとともに、地域福祉の進展に寄与し、地域福祉の拠点組織となることを目指します。

2 法人の経営・運営に関する理念

(1) 理念

わたくしたちの願い

- 一、 わたくしたちは、二十一世紀における地域に根ざした福祉社会の新たな進展と多様な福祉文化の創出に積極的な役割を果たします。
- 一、 わたくしたちは、利用者が住み慣れた地域での生活が続けられるよう、共に支え共に生きる地域福祉のまちづくりに寄与します。
- 一、 わたくしたちは、利用者が尊厳をもって、自分らしく自立した生活が送れるよう、保健、医療と福祉を総合した支援に努めます。
- 一、 わたくしたちは、利用者個人の尊厳が守られるよう、利用者の自己実現と選択を尊重し、利用者本位のサービス提供を目指します。
- 一、 わたくしたちは、地域に開かれた経営とサービスの質の向上に努め、利用者やご家族が満足される価値ある正吉福祉社会を創ります。

(2) 事業と施設等の目的

- ① 当法人が経営する事業と施設等は、21世紀における地域に根ざした福祉社会の新たな進展に貢献するとともに、多様な福祉文化の創出に寄与することを目指します。
- ② 当法人が経営する事業と施設等は、日常生活圏域における地域住民の多様化する新たな地域ニーズに対応して、必要な地域密着型サービス等の地域ネットワークとバックアップ体制づくりに努め、身近なところで、「だれにでも、必要なとき、必要なサービス」を迅速に、包括的かつ継続的に提供し、地域の人びとが、

安心してその住み慣れた地域で継続して生活ができるよう「共に支え共に生きる」地域福祉のまちづくりの創成に寄与することを目指します。

- ③ 当法人が経営する事業と施設等は、利用者の QOL (Quality of Life 生活の質) と生活機能の維持または向上を目標とし、利用者の自己実現と自由なる選択を尊重して、利用者本位のサービス提供に努め、これにより、利用者が、尊厳を持って、自分らしく、自立した日常の地域生活が送れるよう、利用者を支援することを目指します。
- ④ 当法人が経営する事業と施設等は、地域に広く開かれた経営とサービスの質の継続的改善に努め、職員重視とともに、利用者やご家族そして地域住民が満足される価値あるサービスの創造と提供を目指します。
- ⑤ 当法人が経営する事業と施設等は、21 世紀の新たなニーズの進展に対応して、介護予防等の予防サービスを拡充し、可能なかぎり問題の発生やその深刻化を防ぐ等ウェルビーイング (Well Being 健幸) の先進的展開を目指します。

3 理念を具現化するための方策

第 12 期中期経営計画 (2018~2020) では、持続可能な多世代共創社会の実現に向けた第一歩を踏み出し、多世代・多様な人々の Well-Being (健幸) を追求していきます。

その第 1 ステージとなる平成 30 年度は、法人のガバナンスをさらに強化するとともに、介護報酬の改定に適切に対応した、施設や事業の経営とサービスの質の向上を目指します。

本年度の事業の重点項目は次のとおりです。

- (1) 既存施設の更なる地域拠点機能強化と在宅事業部門の業務効率化・事業間連の強化
- (2) 健康長寿をサポートする住まいの整備。
- (3) 多世代交流を通じた地域貢献とシニアの生き甲斐・働き甲斐の創出。
- (4) 内部管理体制の再構築による法人基盤強化。

法人の経営

(1) 施設整備

- ① (仮称) こまえ正吉苑サービス付高齢者向け住宅の事業開始
- ② (仮称) 地域密着型複合施設しもいぐさ正吉苑の整備
- ③ 町田市地域包括支援センター事業開始
- ④ 既存施設の大規模修繕及び建替えの検討と計画策定

(2) ガバナンスの強化

- ① 監事監査と内部監査の連携と強化
- ② 法人全体統制、IT 全般統制、財務に係る記述書・業務フロー・RCM の整備状況と運用状況の内部監査実施

(3) コンプライアンスの徹底

- ① コンプライアンス推進委員会の常設
- ② 各規程や業務要領書の見直し整備と、内部監査強化による組織管理及び業務管理体制の確立

(4) 人材確保・育成と定着

- ① 役員人事制度の構築及び職員人事制度の再構築
- ② 採用基準と採用チャネルの見直し及び拡大
- ③ 各拠点の定着に向けた取り組み
- ④ 専門職のキャリアラダーの仕組みと教育プログラムの策定
- ⑤ 次世代リーダーの育成

(5) 公益事業と地域貢献の取り組み

(6) 新たなサービスの創造

- ① 「保険外サービス」と「混合介護」の検討、実施

- (7) 尊厳ある介護と衛生的かつ快適な生活環境の整備
 - ① 生活者としての自立の支援
 - ② 5Sの徹底
- (8) 最高の品質追求による「正吉」ブランドの強化
- (9) ICT活用による業務の効率化と介護サービスの向上
- (10) 事業継続計画の見直しと訓練の実施
- (11) 健全経営の推進
 - ① 法人本部機能を強化し、健全な財務規律の確立と経営の安定
 - ② 費用の適正化・効率化

施設の経営

- (1) 地域拠点機能の強化

各エリアの施設は、地域包括ケアシステムの推進と地域における公益的な取り組みの推進、災害拠点としての機能強化等、地域福祉の拠点施設としてさらに機能強化していきます。

- (2) 在宅事業部門の業務効率化と事業間連携の強化

各エリアの拠点施設に併設されている、または単独の在宅事業部門を横断的にマネジメントしていくことで、業務の効率化と事業間連携を強化し、特に訪問系事業の拡充を図ります。

- (3) 施設・在宅事業の利用者の重度化への対応

各施設・事業部門は、重中度の要介護者のニーズに迅速に対応し、適切なサービスを提供していきます。また、自立支援介護、看取り介護、安全介護を実践します。

(4) 健康長寿をサポートする住まいづくり

多世代交流や在宅支援等地域拠点としてのサ高住や入居者の生きがい・働きがいを支援するサ高住、分散型サ高住等健康長寿をサポートする住まいを整備していきます。

(5) 内部管理体制の再構築による法人基盤の強化

施設・事業毎に横断的な数値目標や KPI を設定し、事業別本部会議で定期的にモニタリングを行い、事業が適正に運営されているか点検し、改善活動につなげていきます。